



マイ・タイムラインの作成見本

1 自宅の避難情報の発令対象地域 (P62・63)を確認し、該当する発令区分の「避難情報の発令対象地域シール」を貼りましょう。

家族構成や住んでいる地域のリスクに応じて、いつ、だれが、何をするのか決めておきましょう。

例

安威川等の洪水で3~5mの浸水のおそれがある区域に自宅がある茨木さん

茨木 太郎(父) あやめ(私)
花子(母) うめ(祖母)

2 避難準備や避難開始の目安となる警戒レベル・避難情報・防災気象情報を確認しましょう。避難情報、大雨に関する防災気象情報は、すべての方に共通して重要な情報です。洪水や土砂災害に関する防災気象情報については、お住まいの地域によって必要となる情報に✓を入れましょう。

5 避難準備の具体的な内容、それらすべての避難準備にかかる時間を考えて、避難準備に関するシールを貼りましょう。自分の家族構成や生活環境をふまえ、シールにない行動は手書きで追加しましょう。また、自分の家族だけでなく、近所や地域への声かけ等の行動も考えてみましょう。

Step3.マイ・防災マップ、マイ・タイムラインを作しましょう！

避難情報の発令対象地域: **安威川上流** **土砂災害** **水害・土砂**

災害時のマイ・タイムライン

時間経過	5~3日前	0時間			
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
避難情報	※避難情報は必ずしもこの通りの順番で発表されるとは限らず、あくまでも目安です。		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
防災気象情報	大雨 早期注意情報	大雨・洪水注意情報	大雨・洪水警報 (大雨や洪水となる6~3時間前程度)	大雨特別警報	大雨特別警報
▼お住まいの地域によって必要となる情報	洪水	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報 (氾濫が発生する1時間前程度)	氾濫発生情報
	土砂災害		土砂災害警戒情報 (土砂災害の危険が高まる最大2時間前)		

いつ(行動開始の目安となる情報)

1 災害への心構えを高め、備えを充実させましょう。

2 避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。

3 避難に時間を要する人とその支援者は遅くともこのときには避難を始めましょう。

4 命を守る最善の行動をしましょう。

避難先

- 親せきの家
- 〇〇小学校

災害発生

3 災害に応じて使用できる施設が異なるため、災害の種別ごとにチェックシートで整理した避難先を記入しましょう。避難先は、茨木市が指定している避難場所だけではなく、安全な親戚・知人宅等に避難するのも有効です。

4 チェックシートで整理した避難のタイミングと移動時間を基に、避難開始・避難完了に関するシールを貼りましょう。避難に支援が必要な人(高齢者、障害者、乳幼児等)とその支援者は、警戒レベル3(高齢者等避難)や警戒レベル相当情報(大雨・洪水警報、氾濫警戒情報)を目安に、避難を開始しましょう。

1 ▼避難情報の発令対象地域シール

安威川上流	安威川下流	茨木川	大正川
女瀬川	淀川	土砂災害	

4 ▼避難開始・避難完了・避難準備シール

避難開始	避難完了	避難準備
だれが()に避難にかかる時間()分		だれが()に避難にかかる時間()分

5 ▼避難準備シール

だれが()が今後の天気・防災気象情報を確認()分	だれが()がハザードマップを確認()分	だれが()が非常持出品を確認()分	だれが()が家の周りを確認()分	だれが()が避難しやすい服装に着替える()分	だれが()が近所に避難の声かけ()分
だれが()が火の元確認・戸締まり()分	だれが()が避難先の親戚・知人宅等へ連絡()分	だれが()が()に連絡()分	だれが()が車や貴重品などを安全な場所に移動()分	だれが()が携帯電話の充電()分	だれが()が足りないものを買います()分

はじめに

Step 1 ハザードマップ

Step 2 避難を考える

Step 3 マイ・タイムライン